

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2017年日本陸上競技連盟競技規則により実施する。

2. 場内司令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。

3. 練習について

練習は、サブトラックまたは雨天練習場を使用する。(サブトラックでの投てきは禁止)ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。

(フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできません。)

メイン競技場については、トラックのみ7時30分から競技開始40分前まで開放する。

監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させる。

4. 招集について

①招集時間は次の通りとする。

(ア) トラック競技は、競技開始30分前に始まり、15分前に終わる。

ただし、男子100m、200m、400m、800m 女子100m、200m、800mは、組数が6組を超えるため、下記のような招集時間とする。

1組～6組 開始 競技時刻30分前 終了 競技時刻15分前

7組～12組 開始 競技時刻15分前 終了 競技時刻 0分

以下6組ごとに15分後となります。

(イ) フィールド競技は、競技日程の記載時刻とする。

(ウ) 選手は、招集完了5分前には、必ず選手招集所内で待機し、競技者係よりナンバーカード、スパイクのピンの長さ(走高跳・やり投は12mm以下、その他は9mm以下)商標等の点検確認を受ける。

(エ) 招集所は、第4ゲート付近の場外に設ける。

②代理人による招集は一切認めない。また出場選手以外の招集所への立入りを禁止する。

③2種目以上を同時刻に兼ねている選手は、あらかじめその旨を招集所に申し出る。

④招集完了時に遅れた選手は、その競技種目の出場を棄権したものと処理する。

⑤その種目にやむを得ず棄権するときは、その旨を招集所に申し出る。

⑥リレー種目について

・リレーオーダー用紙は、招集所で配布する用紙に記入し、各ラウンド(予選・決勝)ともに、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係まで提出する。

・点呼は、4人全員で受けること。(他種目に出場している場合は代理人可)

5. 競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受ける。

6. ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に確実に付ける。

跳躍種目はこの限りでない。

7. トラック競技の走路順はプログラム記載の番号順とする。

8. 走高跳・棒高跳について

バーの上げ方

男子走高跳 1m60(練)→1m65(最初)

女子走高跳 1m25(練)→1m30(最初)

男子棒高跳 3m30・4m20(練習)→3m40(最初)

女子棒高跳 2m30・3m00(練習)→2m40(最初)

9. 三段跳の踏み切り位置は次の通りとする。男子12m 女子8m
10. 投てき種目の計測ラインは以下の通りとする。
男子：やり投40m00、女子：砲丸投6m50、円盤投17m00、やり投20m00
11. やりの検定は、競技開始1時間前に第2ゲート器具庫前にて行なう。
12. チーム（学校）控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に行なうこと。

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

13. その他

①決勝2組はタイムレースで行なう。

1組目は（下位記録9位—16位）、決勝2組目は（上位記録1位—8位）

②3000m、5000m、10000m、5000mWは制限タイムを設定し、最後の周回に入っている走者以外は制限時間でレースを打ち切る。

制限時間

男子 3000m 12分00秒 女子 3000m 13分00秒

男子 5000m 18分30秒 女子 5000m 20分00秒

男子・女子 5000mw 35分00秒

③選手のアナウンスは以下の通りに行う。

【トラック競技】

予選・・・欠場者のレーンのみアナウンスを行う。（プログラム記載の通りとする。）

決勝・・・選手紹介をする。

【フィールド競技】

欠場者の試技番号のみアナウンスを行う。（プログラム記載の通りとする。）

ベスト8決定後、試技順と選手紹介をする。

④決勝3位までの入賞者は表彰を行なうので成績発表後、直ちに正面玄関エントランスにて待機する。

⑤和歌山県登録者で、今大会6位までの入賞者は近畿選手権大会9月2日から3日（場所：兵庫、三木防災公園）に推薦しますので、出場希望者は下記にて申し出ること。

出場希望者は受付にて推薦申込み用紙に必要事項を記入し、大会終了までに必ず提出すること。（出場決定は県選手権大会の選手を優先する。なお、参加料は県選手権大会時に参加の有無を確認し徴収する）

⑥リレーオーダー用紙、二種目同時出場届、棄権届は招集所で必要枚数を受け取ること。

⑦個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

⑧応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て救護室を利用することができる。

競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。